

～友 愛～

富田中学校だより

学校教育目標

「確かに生きる」

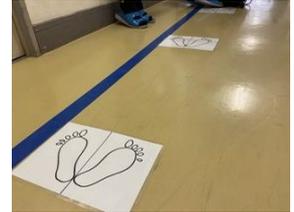
令和 3年 5月19日 No. 3

□健康診断

4月から5月にかけて健康診断を実施しています。4月13日（火）の1年生内科健診（自然教室前健診を兼ねる）を皮切りに、16日（金）2年生内科健診、27日（火）3年生内科健診（修学旅行前健診を兼ねる）を行い、5月には、6日（木）歯科健診、17日（月）眼科健診を行いました。25日（火）には耳鼻科健診と続きます。

県内の新型コロナウイルスの感染状況も予断を許さない状況ですが、健康診断も生徒の健康管理のために欠かせません。どの健診も新型コロナウイルス感染予防の対策を行いながら実施しています。各自マスクをすることはもちろんのこと、保健室前で順番待ちをして並ぶときは、廊下に張られた足跡のところで立ち、前後の人との間隔をきちんと取ります。また入室前には手指の消毒を行います。

素晴らしいことは、保健室に移動する際に校長室前を通るのですが、生徒の話声が全く聞こえません。並んで順番待ちをしている時も同じです。もちろん感染予防のためでもあるのですが、普段の意識や行動がこういった検査の時にも表れているからだと思います。このような生徒一人ひとりの意識も感染予防には欠かせません。これからもこの意識を持ち続けてほしいと思います。



□ICT機器（タブレット）を使った授業

四日市市では、この4月から生徒1人1台タブレット端末が準備され、卒業までの期間、個人専用の端末として、学習活動に使用します。

右の写真は1年生社会の授業の様子です。タブレットだけではなくプロジェクターも使い拡大した画像で全体への指導や指示をしたり、各自のタブレットで個々の学習活動をすすめたり、ICT機器を活用した授業を行っています。また、校外学習や家庭に持ち帰って使用することもあります。

こういった機器を使い、確かな学力の定着のため、生徒が主体的に学習に取り組める授業づくりを目指していきたいと思います。



～（株）伊藤製作所様より図書を寄贈いただいています～

平成30年度から毎年、生徒の読書の振興を目的として、（株）伊藤製作所より、図書の寄贈をいただいています。令和2年度も、生徒の希望をもとに、図書室へ21冊の図書が届きました。いただいた図書は、生徒の読書活動の充実に役立っています。

□教育相談

17日(月)～6月18日(金)まで1学期の教育相談期間です。生徒のみなさんが学校生活を過ごす上で心配なことや悩みなどがあれば、この期間に担任の先生にぜひ相談してください。

普段きっかけがないとなかなか話すことができない内容であったり、特に大きな心配がないことであったりしてもこの機会にぜひ話してみてください。ほかにも今の自分の思いや将来の希望等についてでも構いません。このように色々な話ができるようにこの期間を設定しています。

この期間でなくても、また担任だけでなくすべての先生に、相談したり、話をしたりしてもらっても構いません。毎日を安心な気持ちで過ごしてもらおうことが何よりも大切です。

加えて、毎週水曜日にはスクールカウンセラーとして伊藤久仁子先生に来ていただいています。どのような相談でも聴いていただけます。保護者の皆さまからの相談も受けていただけますので、必要があれば担任まで申し出てください。

□避難訓練

18日(火)の5限目に避難訓練を行いました。例年になく早い梅雨入りで天候が心配されましたが、何とか実施することができました。今回は、地震・津波発生を想定した訓練でした。全校生徒が速やかにグラウンドに避難・集合することができました。校長からは、「いつ、どのような災害が発生するかわからない。いざというときに、とっさに動けるようにするためには、訓練のための訓練ではなく、訓練に真剣に取り組むことが大切」「日頃の備えをしっかりと、災害時には自分の身(命)は自分で守ることが大切」と話しました。

富田中学校の立地は海から近く、津波発生時には二次・三次の避難が必要です。1年生は6限目を利用して、四日市北警察署西側道路への三次避難の訓練も行いました。



□新型コロナウイルスに関わる差別や偏見等の防止について

生徒には特別活動や道徳の時間等を使い正しい知識に基づいた行動がとれるよう指導をしています。ご存知の通り本校でも陽性者が出ましたが、こんな時だからこそ、思いやりにあふれ、互いに助け合える仲間づくりを進め、教育目標の「確かに生きる」の決意の一つである「一人ひとりを大切にする学校」の具体的方策に示しているように、「すべての人が安心・安全に過ごせる学校」となるよう、保護者や地域と協働して取り組んでいきます。



右の写真はあるクラスの取組の表示です。各班のホワイトボードには「いつも通り接してほしい。」「治ってよかったね。これからもよろしくね。」「いつも通り優しく接してくれるクラス」等々、自分が感染してしまったときにどう接してほしいか、周りで感染者が出たときにどう接するか、などが記載されています。